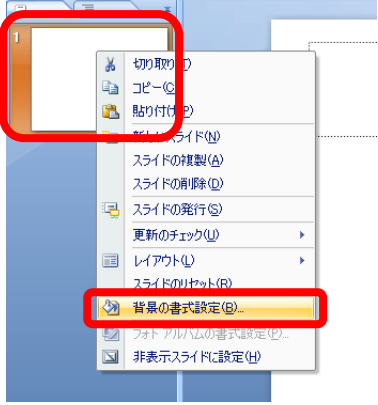
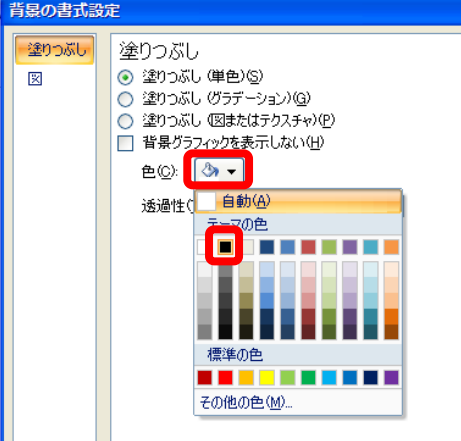
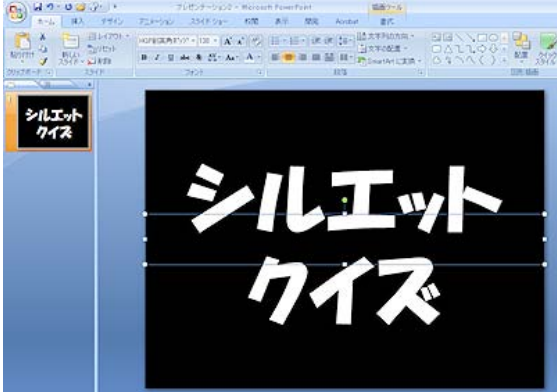
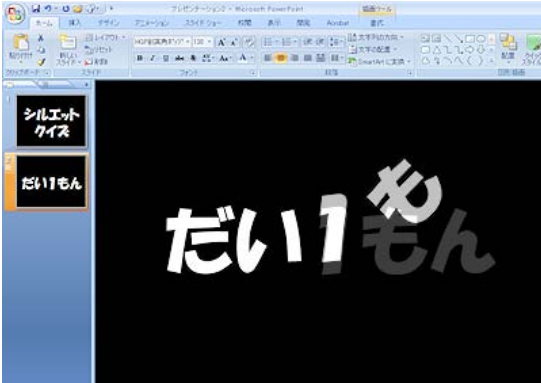


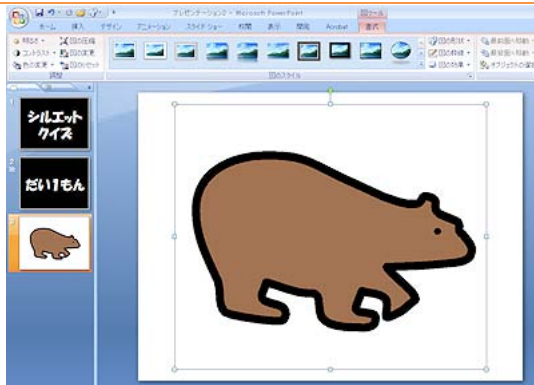
# 「シルエットクイズ」

※ このマニュアルは、PowerPoint2007 で書かれています。

※ PowerPoint 中級者以上を対象として、操作によっては説明を端折ってあります。

1		<p>タイトルを作ります。</p> <p>1 枚目のスライドを右クリックし、「背景の書式設定」をクリック。</p>
2		<p>「色」から「黒」を選びます。</p>
3		<p>テキストボックスに文字は白で、「シルエットクイズ」のタイトルを入れます。</p> <p>背景色を黒にする方法ですが、PowerPointの背景色は、他のスライドに貼り付けると白になってしまうので、図形で黒い四角を描いて貼り付けておくという手法もあります。</p>
4		<p>タイトルのスライドをコピーして、「だいもん」と入ったスライドを作ります。</p> <p>文字が落ちてくるアニメーションは「スイッチ」です。</p>

5

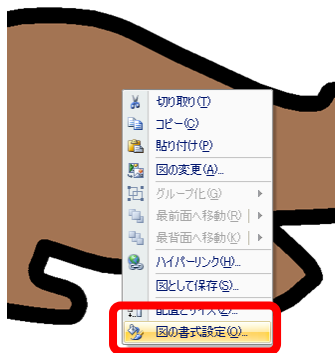


白紙の新しいスライドを挿入して、PCS を貼り付け、背景を透過させます。  
適当なサイズにして、「配置」の「左右中央揃え」「上下中央揃え」を用い、スライドの真ん中にします。

ここでは、簡単につくるために PCS を使っていますが、ネットから、背景が一色かつ背景色が画像に使われ過ぎてないものを探してきても OK です。

また、画像編集ソフトで、透過 png を作れば、どんな画像でも使えます。

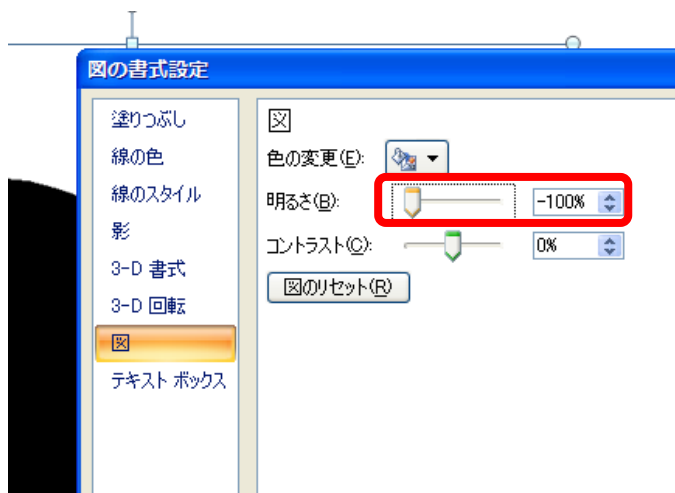
6



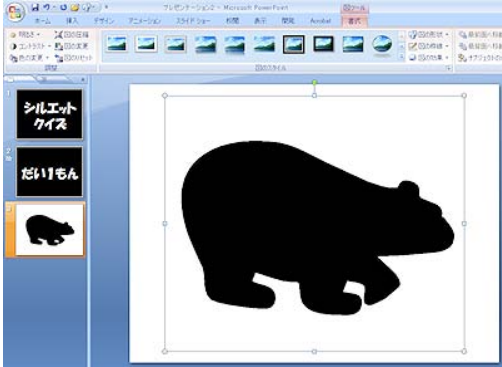

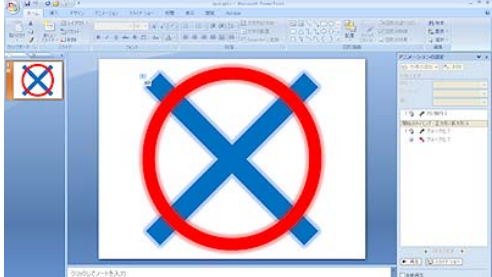
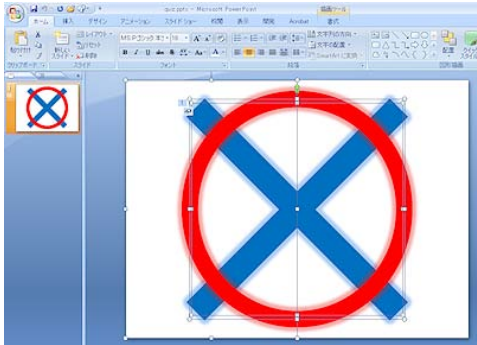
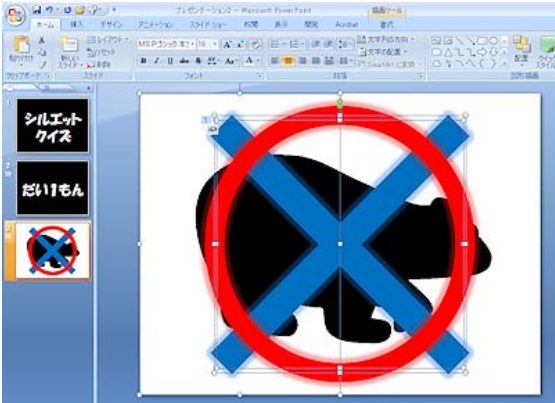
リボン「図ツール 書式」の「図のスタイル」の右下についてる矢印をクリックします。

あるいは、図の上で右クリック→「図の書式設定」。

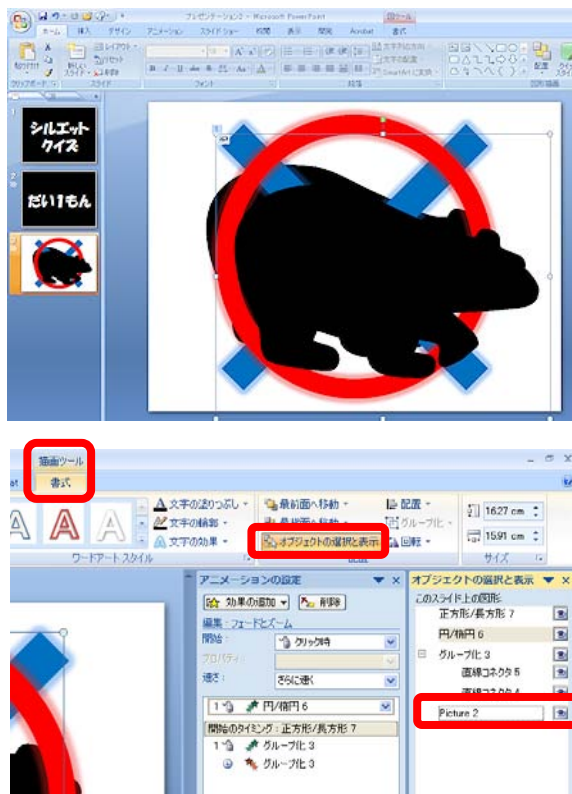
7



「明るさ」を「-100%」にします。

8		<p>こんな風に、シルエットができます。</p> <p>この時、真っ黒い四角になってしまう場合は、画像の背景色の透過ができていないことになります。</p> <p>そんなときは、基本テク「<a href="#">画像の透過</a>」でおさらい↓</p>
9	<p>シルエットクイズ</p>  <p>クイズも、答えによって○か×が出ると盛り上がり方も一様違う！簡単なシルエットクイズを例に、○×覆えるスライド作り。</p> <p><a href="#">「○×スライド」ダウンロード (PowerPoint2007対応)</a></p> <p>マニュアル</p>	<p>ぽっしゅんから、「○×スライド」をダウンロード。</p>
10		<p>「quiz.pptx」を開きます。</p>
11		<p>○か×のあたりをクリックし、「ctrl」+「A」キーで、全ての図形を選択し、コピー。</p>
12		<p>シルエットクイズのスライドに戻り、貼り付けます。</p>

13



くまの画像をコピーし、貼り付けます。

このとき、○や×の図形が邪魔で選択できないときは、リボン「描画ツール 書式」の「オブジェクトの選択と表示」をクリックし、くまの画像と思しきオブジェクト名をクリックすれば、選択できます。

あるいは、○×を貼り付ける前にコピーしておく方法、

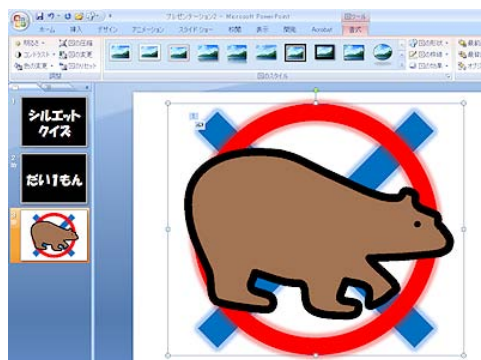
あるいは、画像の順序を変えて、コピーしてから元に戻す方法があります。

14



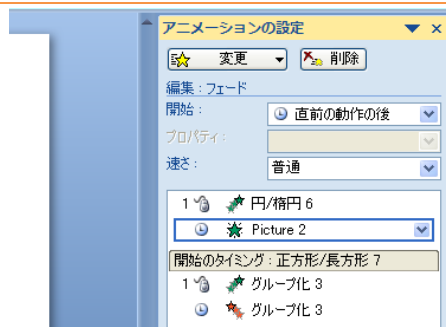
「明るさ」を「0%」にします。

15



スライドの中央に揃えて、後ろのシルエットのくまとぴったり重なるようにします。

16



「フェード」で開始のアニメーションをかけます。

タイミングは「直前の動作の後」。

17



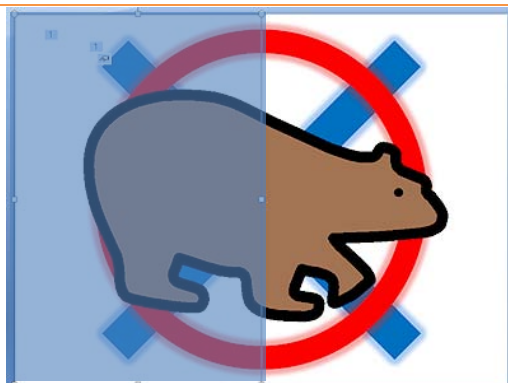
スライドショーを実行してみましょう。

画面の左半分をクリックすると、「×」が出ます。

画面の右半分をクリックすると、「○」が出て、シルエットが正解画像に変わります。

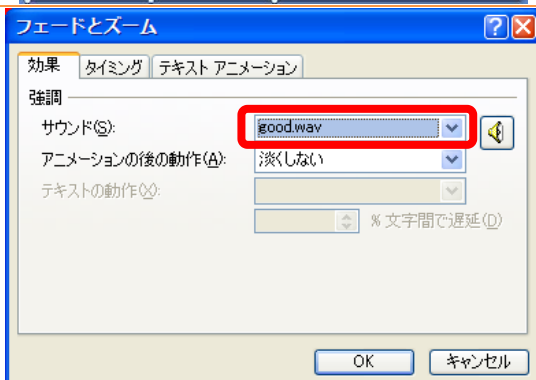
あとは、同じように問題を作っていけば OK です。

○  
×  
の  
仕  
組  
み



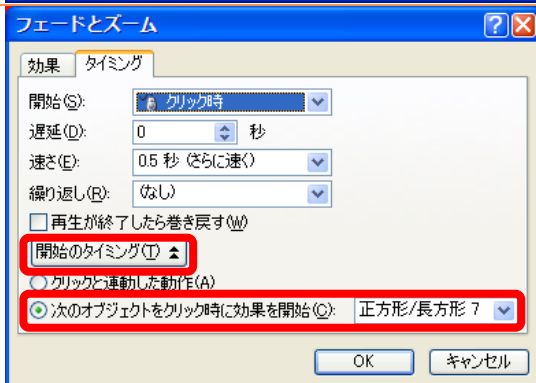
この、答えによって「○」か「×」か選べる仕組みをちょっと説明します。

画面の左半分には、透過 100%にして、透明になってる四角形があります。



「○」「×」ともアニメーションの「効果」で、アニメとともに音が鳴るように設定してあります。

アニメの効果として出る音は、リンクではなく、PowerPoint のファイルに埋め込むことができます。正解音、不正解音を替えたいときは、ここから「その他のサウンド」で別の音を選んでください。



「×」には、音が鳴る他に「タイミング」の「開始のタイミング」で透過させた「四角形」をクリックしたらアニメーションが動くようにしています。

PowerPoint のアニメーションは普通、マウスをクリックすることによって進んでいきますが、このように、図形など特定のオブジェクトをクリックしたら、アニメーションが動くようにもできます。